

地震後も安心して住み続けるには

地震のリスクに対して、皆さまはどう対処しますか？

この地域に限って・・・とお考えの方

日本列島において「この地域は安心!」と言い切れる地域は存在しません。万一のことを想定した場合、住まいの安全性は保証されません。たとえ建物の倒壊を免れることができたとしても、その修繕に要する費用は莫大なものとなります。また、何よりも生命の安全が保証されないのです。

地震保険があるから・・・とお考えの方

確かに、地震後の金銭的リスクの軽減は可能となります。ただし、年間で支払う保険料は高額なものであるにもかかわらず、実際に支払われる保険金は完全復旧できるものではありません。(地震の規模がとて多大なときには保険金が削減されるときのあります。)また、生命の安全が保証されるものではありません。

地震の揺れを熱に変換

地震エネルギー吸収システム「ジーバ」

GVA

構造の安全性を追及する設計・施工会社が導入している最先端テクノロジー

地震対策技術を導入すると・・・

「大地震や繰り返す大余震にもビクともしない家を作る」

「安心して住み続けられる」

このように考えると家族の生命の危険度は軽減され、地震後の修繕費用も最小限で抑えられます。しかも地震対策技術を導入することは住宅の耐久性を上げることにつながるため、資産価値を保ち続けることもできるのです。

そのためには、低コストで本当に効果のある地震対策工法を選ぶ必要があります。

地震対策技術を比較し、賢明な選択をする必要があります。



耐震

一般的な技術。「地震の力」に「建物の力」で耐えようとするので、受ける衝撃は大きくなる。余震のたびに破壊が進行し、倒壊する場合もある。大地震後は復旧工事をしなければ危険。

免震

建物の土台と基礎の間にボールなどをはさみ、地震の揺れを直接建物に伝えない技術。設置するためには、さまざまな制約がある。コストが非常に高く、定期点検が必要。

制震

エネルギー吸収システムが、地震の破壊エネルギーを建物に無害な熱エネルギーに変換して消費する技術。地震エネルギーの半分以上を吸収し、連続する地震でも損傷を最小限に抑え、大地震後も軽微な補修だけで住み続けられます。ローコスト。メンテナンスフリー。